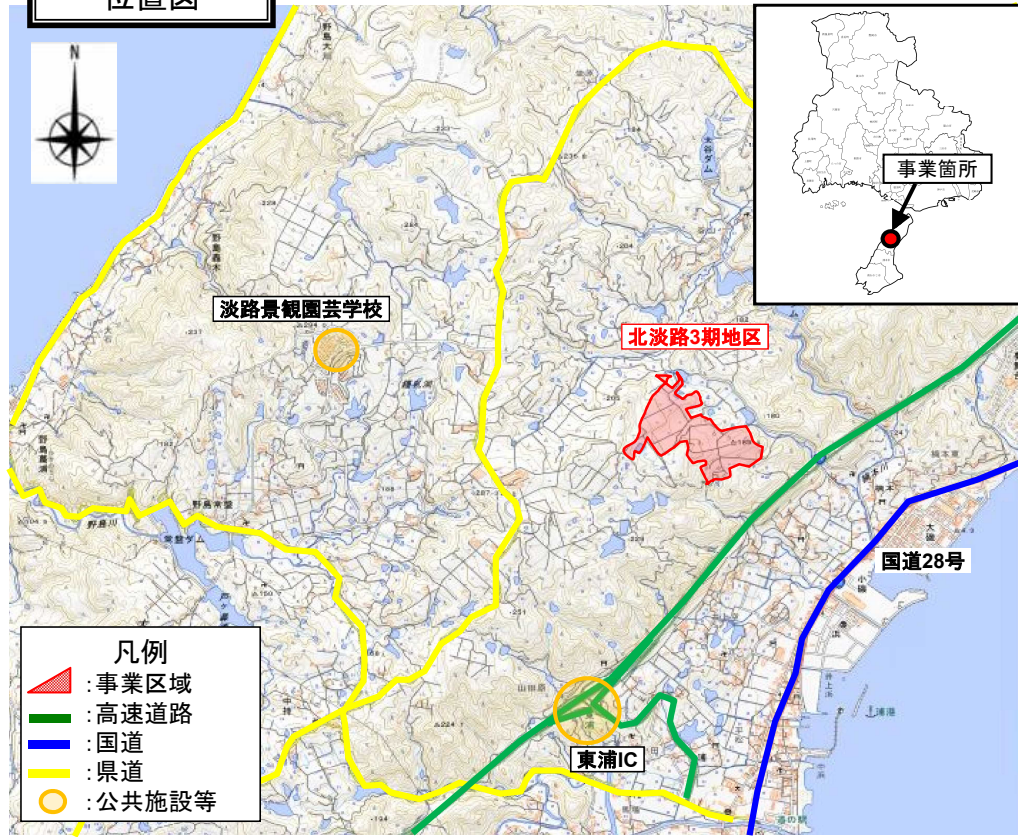


きたあわじ  
ほ場整備事業 北淡路3期地区

位置図



- 凡例
- 事業区域
  - 高速道路
  - 国道
  - 県道
  - 公共施設等

出典: 国土地理院

目的

本地区は淡路市北部の丘陵地に位置する国営農地開発事業(S43~H元)によって造成された営農団地の一部である。現況農地14.5haのうち6.4haは永らく不耕作地であったが、北淡路地区の農地有効活用プロジェクトとして農業参入を希望する企業等へ貸し付けることとし、プロポーザル方式により事業者を公募した。その結果、事業者7者を選定することができたことから、事業者の営農計画を実現するため、必要な整備を行い、高収益作物の生産拡大を図り、持続可能な地域農業を推進する。

事業概要

事業概要: 区画整理 14.5ha(関係戸数40戸)  
所在地: 淡路市楠本  
事業期間: R5~R10  
総事業費: 5.7億円  
事業主体: 県  
費用便益比: 1.42

事業概要

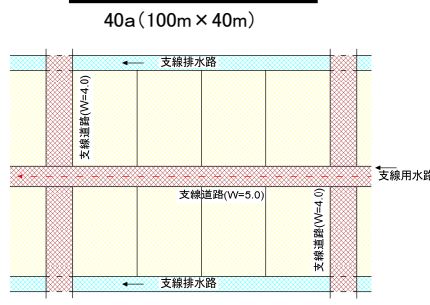
1 スケジュール

工程	R5	R6	R7	R8	R9	R10
実施設計						
区画整理工						
その他(換地)						

平面図

	現状	計画
ほ場条件	区画: 平均30a(畑地) 用水路: バイブライン 排水路: - 道路: 幅員2m	区画: 標準40a(畑地) 用水路: バイブライン 排水路: コンクリート水路 道路: 幅員4~5m
経営体	個人40戸(15.4ha)	個人0戸(0.0ha) [担い手] 株式会社: 5法人(12.0ha) ※認定農業者 有限会社: 1法人(1.5ha) ※認定農業者 合同会社: 1法人(1.0ha) ※認定農業者
農業生産(主なもの)	たまねぎ: 0.6ha ワインブドウ: 1.0ha ※不耕作: 6.4ha	たまねぎ: 5.3ha ワインブドウ: 2.3ha キウイ: 2.7ha

標準区画割図



狭小な道路



耕作放棄地



水兼道路



事業の必要性

本地区は、急傾斜地(主傾斜1/11)で農道が狭く、用水路はパイプラインであるが老朽化が進み、機械化による効率的な営農を行うためには、区画形状の改良と道路の拡幅は不可欠である。事前に地元同意100%となっており、参入企業も早期営農開始を希望している。

凡例

	アイ・エス・フーズ徳島株
	Botanical Life合同会社
	Domanie KAORU株
	ハートスアグリフロンティア株
	株池上農場
	(有)三界産業
	株今井ファーム

